

# 海軍公報

第二千三百三十五號

海軍大臣官房

昭和九年十二月一日(土)

## ○令達

官房第四二六四號ノ二

十月一日官房第四二六四號ニ依ル海軍兵學校、海軍機關學校、海軍軍醫學校、海軍經理學校各選修學生採用試験期日ヲ左ノ如ク改ム

昭和九年十二月一日

海軍大臣

記

一、學術試験期日 昭和十年一月中旬

## ○通牒

官房第五一〇一號

昭和九年十二月一日

海軍省副官

關係各廳御中

職員録原稿ノ件照會

昭和十年一月一日現在職員録發行ノ爲原稿調製方内閣印刷局長ヨリ照會有之候ニ付テハ貴廳ニ係ル分左記ニ據リ調製、期日迄ニ御送付相成度

記

一、昭和十年一月一日現在ノ高等官同待遇者及之ニ準

スル公務員ヲ録スルコト

一、氏名ノ上ニ附シタル官職前行ニ同ジトキハ「同」

字ヲ用フルコト

一、氏名中讀方ノ特ニ困難ナルモノニ限リ振り假名ヲ

附スルコト

一、勳等旭日章ナルトキハ(旭)ト記載ノコト

一、在京官廳ノ課長以上ノ職ニ在ル者及各省秘書官並

ニ勅任官ハ住所電話ヲ記入スルコト

一、地方所在ノ各廳ニ在勤スル勅任官ニシテ長タル官

職ニ在ル者ニハ住所及電話ヲ附記スルコト

一、課別ニセザルコト

一、朝鮮ノ各道、臺灣ノ各州廳管下ノ官署ニハ所在地

海軍公報 第二千三百三十五號

昭和九年十二月一日

一一一五

0637

及電話ヲ省略スルコト

一、用紙ハ美濃對和紙ニシテ一段書トスルコト

一、字體ハ楷書ニシテ明瞭ニ記シ特ニ氏名ニハ注意ノコト

一、其ノ他一般記載ノ體裁ハ昭和九年一月職員録ノ例

ニ依ル尙昭和三年海人第二〇四號(十二月六日)及同

四年海人第二五四號ノ三(七月十五日)參照ノコト

一、原稿到達ノ期日 一月八日

### ○辭令

○昭和九年十二月一日

海軍屬兼海軍書記 岩井與三郎

免本官專任海軍書記

給六級俸

(各通)

元山 勝見

野邊 忠明

菊池 正人

任海軍技手

給七級俸

(各通)

任海軍技手

給八級俸

陸軍砲兵軍曹

諏訪 武夫

長尾 葵

海軍大佐

武富 邦茂

同

中嶋 隆吉

同

杉山 俊亮

同

島津 忠重

同

公爵 大和田芳之介

同

雪下 勝美

同

高橋 伊望

同

鈴木 嘉助

同

細萱 戊子郎

同

新見 政一

同

塚原 二四三

同

熊岡 讓

同

伊藤 利三郎

同

砂川 兼雄

同

丹下 薰二

同

宮田 義一

0638

(各通)

特別俸ヲ賜フ

海軍大佐	廣瀬 正經
同	小島 謙太郎
同	岩下 保太郎
同	戸荊 隆始
同	小池 四郎
海軍機關大佐	須田 稔
同	氏家 親治
同	御宿 好
同	朝隈 彦吉
同	沖本 至
同	都築 伊七
海軍軍醫大佐	中野 太郎
同	真下 綠三郎
同	田中 肥後太郎
同	比企 能之
海軍主計大佐	平井 博
同	金谷 隆一
海軍造船大佐	橋口 保孝
同	正木 宣恒
海軍造機大佐	岩藤 二郎
海軍造兵大佐	松岡 俣躬

歸朝ヲ命ス

海軍書記

丸岡 克巳  
久間 金造

海軍艦政本部造船造兵監督書記兼軍令部附ヲ命ス

英園へ出張ヲ命ス

岩井 興三郎

米園へ出張ヲ命ス

軍令部附同

大關 隆文

(各通)

海軍技手

住田 菊男

歸朝ヲ命ス

海軍艦政本部附兼造兵監督助手

杉山 遼一

海軍艦政本部造兵監督助手ヲ命ス

獨園へ出張ヲ命ス

同

海軍艦政本部勤務兼造兵監督助手

同

同

海軍艦政本部勤務兼造兵監督助手

同

同

横須賀海軍工廠附ヲ命ス

同

同

横須賀海軍工廠附ヲ命ス

同

同

横須賀海軍工廠附兼海軍艦政本部附ヲ命ス

同

同

吳海軍工廠附ヲ命ス

同

同

0639

海軍技手 諏訪 武夫

吳海軍建築部勤務ヲ命ス

同 長 尾 募

佐世保海軍建築部勤務ヲ命ス(以上二海軍省)

海軍主計兵曹長 畑井友四郎

武功調査事務囑託ヲ解ク(海軍省局人事)

○ 雜 款

○郵便物閉塞交換開始  
特務艦襟裳今次北米方面行動中同艦下横濱郵便局間ニ  
軍艦郵便ノ取扱ヲ行フ

(海軍省副官)

○郵便物閉塞交換廢止  
軍艦天龍下門司郵便局間ニ取扱中ノ軍艦郵便ハ今般廢  
止セラレタリ

(海軍省副官)

○軍艦球磨行動豫定

地名 着 發  
吳 十二月十五日 十二月十二日  
上海 十二月十九日  
旅順 二十一日 二十四日

青 島 二十五日

○郵便物發送先

軍艦球磨宛

十二月十一日迄ニ到達見込ノモノハ 吳

其ノ後ハ 門司郵便局氣付

特務艦隱戸宛

十二月五日迄ニ到達見込ノモノハ 吳

十年一月三日迄ニ同 横濱郵便局氣付

二月十二日迄ニ同 吳 横 須 賀  
其ノ後ハ

○電話架設

海軍省經理局第二課長海軍主計大佐山本丑之助宅(大  
森區山王二ノ二一六四)  
大森 四八二五番

○事務所移轉

第二十八潜水隊事務所ハ去月二十六日伊號第六十三潛  
水艦内ニ移轉セリ

○正誤

去月三十日本欄電話架設中軍司令部副官海軍大佐代谷清  
宅志番地ハ誤ニ付左ノ通訂正ス  
赤坂區青山南町五ノ八四

0640

○艦船所在

指<sup>▲</sup>印<sup>△</sup>ハ<sup>△</sup>ホ<sup>△</sup>フ  
定<sup>△</sup>ヲ<sup>△</sup>要<sup>△</sup>セ<sup>△</sup>ズ

○十二月一日午前十時調

【横須賀】

日進<sup>▲</sup>陸奥、夕張、金剛、木曾、口山城<sup>▲</sup>、五十鈴、<sup>△</sup>多摩、<sup>△</sup>鳳翔、<sup>△</sup>鳥海<sup>▲</sup>、摩耶、高雄、愛宕、<sup>△</sup>赤城、神威、<sup>△</sup>那珂、春日、比叡

矢風、澤風、<sup>△</sup>松風、春風、旗風、朝風、<sup>△</sup>沖風<sup>▲</sup>、峯風<sup>▲</sup>、<sup>△</sup>響、雷、電、<sup>△</sup>漣、曉、狹霧、<sup>△</sup>伊三、伊一、伊二、<sup>△</sup>伊五、富士<sup>▲</sup>、尻矢、大和、鳴戸、洲崎

(鈴谷)

【長浦】

<sup>△</sup>秋風、帆風、羽風、太刀風、<sup>△</sup>潮、臈、曙、<sup>△</sup>天霧、朝霧、夕霧、<sup>△</sup>呂五五、<sup>△</sup>呂五四、<sup>△</sup>呂五六、<sup>△</sup>伊二三、<sup>△</sup>伊二四、伊四

<sup>△</sup>掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【館山】

梶、<sup>△</sup>沼風、神風、野風、波風

【大湊】

大泊、<sup>△</sup>長門、矢矧、淀、大鯨、球磨<sup>▲</sup>、韓崎、勝力、加古、<sup>△</sup>伊勢、扶桑、龍驤、<sup>△</sup>青葉、古鷹、衣笠、<sup>△</sup>神通、長鯨、白鷹、日向、大井、<sup>△</sup>天龍

【吳】

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、<sup>△</sup>夕顔、菊、葵、<sup>△</sup>初雪、白雪、<sup>△</sup>綾波、敷波、浦波、<sup>△</sup>東雲<sup>▲</sup>、吹雪<sup>▲</sup>、磯波、<sup>△</sup>白雲、叢雲、薄雲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、<sup>△</sup>呂二八、呂二七、<sup>△</sup>呂六三、呂六四、呂六八、<sup>△</sup>伊二三、伊二一、<sup>△</sup>伊五七、伊五六、伊五八、<sup>△</sup>伊五二、伊五一、<sup>△</sup>伊五五、伊五三、伊五四、伊六八

掃七、掃八、掃九、掃一〇、<sup>△</sup>掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、石廊、攝津、間宮、朝日、襟裳、隠戸、野島

(最上)、(呂三三)

【神戸】(有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

【江田内】平戸

【徳山】知床

【舞鶴】吾妻<sup>▲</sup>、川内、鬼怒

<sup>△</sup>早苗、吳竹<sup>▲</sup>、若竹<sup>▲</sup>

呂二六

友鶴

(夕暮)

【佐世保】加賀<sup>▲</sup>、妙高、那智、足柄、羽黒、能登、呂、磐手、迅鯨、常磐、霧島、八重山、榛名、

0641

<p>【長 崎】 梅▲、栗▲、榆          (三隈) 第...</p> <p>【馬 公】 沙風、島風、灘風、夕風</p> <p>【鎮 海】 菱、葦</p> <p>【釜 山】 葦</p> <p>【旅 順】 出雲</p> <p>【上 海】 安宅、堅田、勢多、隅田、保津、伏見</p> <p>【南 京】 室戸、浦風</p>	<p>▷長良▲名取、▷阿武隈、▷由良、▷北上          梨、竹、樞、▷柳、桃、檜、樅、▷夕月、          菊月、望月、三日月、▷睦月、如月、彌生、          卯月、▷初霜、初春、子日、若葉、▷長月、          水無月、皁月▲、文月▲、▷疾風、追風、          朝風、夕風、▷梯、蓬</p> <p>呂二三、 呂二四、 呂二五、 呂三一、          呂二九、 呂三〇、 呂三二、 呂六〇、          呂六一、 呂六二、 呂六五、 呂六六、          呂六七、 伊六五、 伊六六、 伊六七、          伊六三、 伊五九、 伊六〇、 伊六一、          伊六二、 伊六四</p> <p>▷初雁、千鳥、真鶴          敷島▲、早靦</p> <p>(伊七〇)</p>	<p>【漢 口】 對馬、二見</p> <p>【長 沙】 鳥羽</p> <p>【沙 市】 比良</p> <p>【重 慶】 熱海</p> <p>【厦 門】 ▷龍田          ▷芙蓉、刈萱、朝顔、▷蓮、蓼</p> <p>【廣 東】 雙峨</p> <p>【羅 府】 佐多</p> <p>【作 業 地】 駒橋、嚴島</p> <p>【航海中】</p> <p>鶴見 (十一月十日佐世保發)「ホノルル」( )          膠州 (十一月十五日横須賀發)「マルト」( )          青島 (十一月二十九日西戶崎發)「舞鶴」( )          ▷八雲、淺間 (十一月三十日鎮海發)「仁川」( )          宇治 (十一月三十日漢口發)「九江」( )          ▷呂五九、呂五七、呂五八 (十一月三十日長浦發)「俱東」( )</p>
--	---	---

(附錄三頁、部内限一頁)

0642

# 海軍公報附錄

昭和九年十二月一日(土)  
海軍大臣官房

## ○雜款

北陸地方及朝鮮水害義捐金釀出明細表

一、金參千百七拾壹圓六拾七錢也

內譯

應名	金額	應名	金額	應名	金額	應名	金額
海軍大臣官房	三〇五七〇	軍令部	八六五三〇	海軍技術研究所	四四三九〇	同	二八七〇
海軍省軍務局	三三三〇	海軍艦政本部	一四四九〇	橫須賀鎮守府	三三三〇	同	九〇六〇
同	三〇六〇	同	四〇九六〇	同	五三〇〇	同	九〇三〇
同	一九七〇	同	三〇六〇	同	三三三〇〇	同	六六三〇
同	一五七四〇	東京海軍無線電信所	三〇九三〇	同	六四九〇	同	九〇二〇
同	七三〇	水路部	四〇九三〇	同	三〇九九〇	同	一六〇三〇
同	七三〇	同	四〇九三〇	同	三〇九九〇	同	一六〇三〇

海軍公報附錄

0643







# 海軍公報

第二千三百三十六號

昭和九年十二月三日(月)

海軍大臣官房

## ○雜款

○司令驅逐艦變更  
第八驅逐隊司令ハ一昨一日司令驅逐艦ヲ天霧ヨリ朝霧ニ變更セリ

○司令潜水艦變更  
第二十九潜水隊司令ハ一昨一日司令潜水艦ヲ伊號第六十一潜水艦ヨリ伊號第六十二潜水艦ニ變更セリ

○着任、退廳

新任 軍令部 第三部長 海軍少將 高須 四郎 十二月十九日着任

前任 軍令部 第三部長 海軍中將 津田 靜枝 十二月二十三日退廳

○電話架設

軍令部第三部長海軍少將高須四郎宅(麻布區霞町一) 青山 一五二〇番

退役海軍少將從四位勳三等荒川規志一昨一日卒去、來六日午後一時ヨリ同二時迄東京市澁谷區長谷戸町六四自宅ニ於テ神式ニ依リ告別式執行

海軍公報 第二千三百三十六號 昭和九年十二月三日

0646

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十二月三日午前十時訓

【横須賀】

日進▲陸奥、夕張、金剛、木曾、口山城▲、五十鈴、▷多摩、▷鳳翔、口鳥海▲、摩耶、高雄、愛宕、▷赤城、神威、▷那珂、比叡、矢風、澤風、口松風、春風、旗風、朝風、口沖風▲、峯風▲、口響、雷、電、口漣、曉、狹霧、伊三、伊一、伊二、口伊五、富士▲、尻矢、大和、洲埼

(鈴谷)

【長浦】

口秋風、帆風、羽風、太刀風、口潮、隴、曙、口朝霧、天霧、夕霧、口呂五九、呂五七、呂五八、口呂五五、呂五四、呂五六、口伊二三、伊二四、伊四、口掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【館山】

椿

【吳】長門、矢矧、淀、大鯨、球磨▲、韓崎、勝力、日向▲、加古、▷伊勢、扶桑、龍腹、▷青葉、古鷹、衣笠、▷神通、長鯨、白鷹、大井、▷天龍、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、口夕顔、菊、葵、口初雪、白雪、口綾波、敷波、

浦波、口東雲▲、吹雪▲、磯波、口白雲、叢雲、薄雲

呂一七、呂二八、呂一九、呂五一、呂五三、口呂二八、呂二七、口呂六三、呂六四、呂六八、口伊二三、伊二一、口伊五七、伊五六、伊五八、口伊五二、伊五一、口伊五五、伊五三、伊五四、伊六八

掃七、掃八、掃九、掃一〇、口掃一三、掃一四、掃一五、掃一六

石廊、攝津、間宮、朝日、襟裳、隠戸

(最上)、(呂三三)

【神戸】

(有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

【江田内】

平戸

【徳山】

知床

【舞鶴】

吾妻▲、川内、鬼怒

口早苗、吳竹▲、若竹▲

呂二六

友鶴

青島

(夕暮)

【佐世保】

加賀▲、妙高、那智、足柄、羽黒、能登呂、磐手、迅鯨、常磐、霧島、八重山、榛名、口長良▲、名取、▷阿武隈、▷由良、▷北上、梨、竹、樺、口柳、桃、楡、櫻、口夕月、

0647

菊月、望月、三日月、陸月、如月、彌生、卯月、初霜、初春、子日、若葉、長月、水無月、皐月、文月、疾風、追風、朝風、夕風、梯、蓬

呂二三、呂二四、呂二五、呂三一、呂二九、呂三〇、呂三一、呂六〇、呂六一、呂六二、呂六五、呂六六、呂六七、伊六五、伊六六、伊六七、伊六三、伊五九、伊六〇、伊六二、伊六一、伊六四

初雁、千鳥、真鶴、敷島、早靱、伊七〇

【長崎】梅、栗、楡

(三隈)

【馬公】沙風、島風、灘風、夕風

【鎮海】葦、菱、葎

【仁川】八雲、淺間

【旅順】藤、薄、萩、葛

【上海】安宅、堅田、勢多、隅田、保津、伏見、室戸

【南京】浦風

【九江】宇治

【漢口】對馬、二見

【長沙】鳥羽

【沙市】比良

【重慶】熱海

【汕頭】芙蓉、刈萱、朝顔

【廣東】嵯峨

【ホノルル】鶴見

【羅府】佐多

【作業地】駒橋、嚴島

【航海中】

膠州 (十一月十五日橫須賀發「ヤルロト」)

春日 (一日橫須賀發「吳」)

鳴戸 (一日橫須賀發「羅府」)

野島 (一日吳發「橫須賀」)

出雲 (二日旅順發「上海」)

龍田 (二日厦門發「馬公」)

沼風、野風、波風 (三日青森發「大湊」)

大泊 (三日大湊發「函館」)

(部内限ナシ)

0648

# 海軍公報

第二千三百三十七號

海軍大臣官房

昭和九年十二月四日(火)

## ○通牒

官房第五二二三號ノ二

昭和九年十二月四日

海軍省副官

關係各廳長殿

昭和十年「海軍要覽」編纂ニ關シ便宜

供與ノ件申進

首題ニ關シ左記ノ通海軍有終會ヨリ依頼有之候條便宜  
供與方可然御取計相成度

記

有第五四號

昭和九年十一月二十六日

附屬海軍有終會副理事長 中島資朋

海軍次官 長谷川清殿

昭和十年版「海軍要覽」編纂資料提供方

御依頼ノ件

今般本會ニ於テ豫テ御承知ノ首題書籍編纂ニ着手致候  
ニ就テハ前回通り貴省始メ關係海軍官衙ニ對シ其ノ資  
料提供方御高配ヲ得度候條相當ノ便宜ヲ與ヘラレ度此  
段及御依頼候也

追テ主トシテ資料ノ供給ヲ得度編纂委員左記ノ通ニ  
有之候

尙ホ擔任理事出頭ノ上委細申述ブベク候

記

編纂委員

委員長 中島海軍有終會副理事長

委員 東林岩次郎

同 廣瀬彦太郎

同 小山與四郎

同 西川速水

同 高橋真十郎

同 武村耕太郎

同 永村清

同 生島稠

海軍公報 第二千三百三十七號 昭和九年十二月四日

一二二五

0649

○辭令

海軍大尉 松本 健

武功調査事務囑託ヲ解ク(註明海軍省)

海軍少佐 本告 唯次

海軍軍事普及部委員ヲ命ス

御府献納品銓衡委員會委員ヲ命ス(註明同)

海軍主計少佐 古河 兼義

三隈艦裝員事務ニ要スル經費支拂ノ爲臨時資金前渡官吏ヲ命ス

海軍主計大尉 下井田 萬作

有明艦裝員事務ニ要スル經費支拂ノ爲臨時資金前渡官吏ヲ命ス

伊號第六潜水艦裝員事務ニ要スル經費支拂ノ爲臨時資金前渡官吏ヲ命ス(以上註明支出官海軍省經理局長)

○雜款

○驅逐艦栗行動豫定

地名 着

十二月十日

佐世保 十二月十日 十八日  
上海 二十日

○特務艦大泊行動豫定

地名 着

大湊 十二月三日

大湊 十二月六日

十二月三日 十六日

○郵便物發送先

驅逐艦栗宛

十二月九日迄ニ到達見込ノモノハ 長崎

同 十七日迄ニ 同 佐世保郵便局氣付

其ノ後ハ

特務艦大泊宛

十二月五日迄ニ到達見込ノモノハ 大湊

其ノ後ハ

大湊

○艦船所在

指印ハハホシノ  
定ヲ要セズ

○十二月四日午前十時調

【横須賀】

日進▲陸奥、夕張、金剛、木曾、山口城▲、五十鈴、▽多摩、▽鳳翔、口鳥海▲、摩耶、高雄、愛宕、▽赤城、神威、▽那珂、比叡、矢風、澤風、口松風、春風、旗風、朝風、口沖風▲、峯風▲、口響、雷、電、口漣、曉、狹霧、口伊三、伊一、伊二、口伊五、富士▲、尻矢、大和、野島

【長浦】

口秋風、帆風、羽風、太刀風、口潮、隴曙、口朝霧、天霧、夕霧、口呂五九、呂五七、呂五八、口呂五五、呂五四、呂五六、口伊二三、伊二四、伊四

【館山】

口掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五、口掃

【大湊】

口沼風、神風、野風、波風、口大泊

【函館】

口吳、長門、矢矧、淀、大鯨、球磨▲、韓崎、勝力、日向▲、加古、▽伊勢、扶桑、龍驤、▽青葉、古鷹、衣笠、▽神通、長鯨、白鷹、大井、▽天龍、春日

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、口夕顔、菊、葵、口初雪、白雪、口綾波、敷波、浦波、口東雲▲、吹雪▲、磯波、口白雲、叢雲、薄雲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、口呂二八、呂二七、口呂六三、呂六四、呂六八、口伊二二、伊二一、口伊五七、伊五六、伊五八、口伊五二、伊五一、口伊五五、伊五三、伊五四、伊六八

【神戶】

掃七、掃八、掃九、掃一〇、口掃一三、掃一四、掃一五、掃一六、石廊、攝津、間宮、朝日、襟裳、隱戸(最上)、(呂三三)

【江田内】

平戸、吾妻▲、川内、鬼怒、口早苗、吳竹▲、若竹▲、呂二六

【舞鶴】

友鶴、青島

【佐世保】

(夕暮) 加賀▲、妙高、那智、足柄、羽黒、能登呂、磐手、迅鯨、常磐、霧島、八重山、榛名、▽長良、名取、▽阿武隈、▽由良▲、▽北上

0651

梨、竹、樞、区柳、桃、檜、櫻、区夕月、  
 菊月、望月、三日月、区陸月、如月、彌生、  
 卯月、区初霜、初春、子日、若葉、区長月、  
 水無月、皐月、区文月、区疾風、追風、  
 朝風、夕風、区梯、蓬

区二三、 区二四、 区二五、 区三一、  
 区二九、 区三〇、 区三一、 区六〇、  
 区六一、 区六二、 区六五、 区六六、  
 区六七、 区伊六五、 伊六六、 伊六七、  
 区伊六三、 伊五九、 伊六〇、 伊六二、  
 伊六一、 伊六四

区初雁、千鳥、真鶴  
 敷島、早鞆  
 (伊七〇)

【長崎】 梅、栗、榆  
 (三隈)

【馬公】 龍田  
 区沙風、島風、灘風、夕風、区逆、蓼

【鎮海】 区董、菱、葦  
 【仁川】 区八雲、淺間  
 【上海】 区安宅、堅田、隅田、保津、伏見  
 【南京】 浦風  
 【九江】 宇治  
 【漢口】 對馬、二見  
 【長沙】 鳥羽

【沙市】 比良  
 【重慶】 熱海  
 【汕頭】 区芙蓉、刈萱、朝顔  
 【廣東】 嵯峨  
 【ホ、ルル】 鶴見  
 【羅府】 佐多  
 【作業地】 駒橋、嚴島

【航海中】  
 膠州 (十一月十五日横須賀發「ヤル」トへ)  
 鳴戸 (一日横須賀發—羅府へ)  
 区出雲 (二日旅順發—上海へ)  
 勢多 (三日上海發—南京へ)  
 区藤、薄、萩、葛 (三日旅順發—壺蘆島へ)  
 知床 (三日徳山發—横須賀へ)  
 洲崎 (三日横須賀發—徳山へ)  
 室戸 (三日上海發—佐世保へ)

(部内限一頁)

0652



# 海軍公報

第二千三百三十八號

昭和九年十二月五日(水)

海軍大臣官房

## ○辭令

第三艦隊ニ於ケル齒科治療囑託 青木 厩雄  
自今報酬年額參千圓ヲ給ス(正前海軍省)

## ○雜款

○旗艦變更  
横須賀警備戰隊司令官ハ昨四日旗艦ヲ那珂ヨリ比叡ニ變更セリ

○在外武官宿所變更  
英國在勤帝國大使館附武官海軍大佐岡新ハ去月二十九日宿所ヲ左記ニ變更セリ

記

Captain A. Oko, I. J. N.,  
Naval Attaché to the Japanese Embassy,  
34 Campden Hill Court,  
Kensington, London, W. 8.

## ○試驗問題發送

第五十六期普通科經理術  
第二十八期掌厨術 練習生採用試驗問題昨四日發送済

追テ聯合試驗施行豫定各部(横須賀、吳、佐世保、大湊、舞鶴、鎮海)ニ對スル分ハ各人事部長若ハ參謀長宛送付致候ニ付單獨施行スベキ各部ニシテ未着ノ場合ハ本校ニ請求相成度  
試驗施行期日 昭和十年一月十六日(水)  
(海軍經理學校)

豫備役海軍少將從四位勳三等功五級關干城本五日神奈川縣三浦郡北下浦村野比ニ於テ卒去、來八日午後二時ヨリ同三時迄青山齋場ニテ神式ニ依リ告別式執行

○艦船所在

▲印(ハハカ)ノ  
指定ヲ要セズ

○十二月五日午前十時調

【横須賀】

日進▲陸奥、夕張、金剛、木曾、口山城▲、  
五十鈴、▷多摩、▷鳳翔、口鳥海▲、摩耶、  
高雄、愛宕、▷赤城、神威、▷比叡、那珂、  
矢風、澤風、▷松風、春風、旗風、朝風、  
▷沖風▲、峯風▲、▷響、雷、電、▷漣、曉、狹霧、  
▷伊三、伊一、伊二、▷伊五、  
富士▲、尻矢、大和、野島

(鈴谷)

【長浦】

秋風、帆風、羽風、太刀風、▷湖、隴、  
曙、▷朝霧、天霧、夕霧、  
▷呂五九、▷呂五七、▷呂五八、▷呂五五、  
▷呂五四、▷呂五六、▷伊二三、▷伊二四、  
伊四、  
▷掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【館山】

【大湊】

【函館】

【吳】

▷沼風、神風、野風、波風、  
大泊、  
長門、矢矧、淀、大鯨、球磨▲、韓崎、勝力、  
日向▲、加古、▷伊勢、扶桑、龍驤、▷青葉、  
古鷹、衣笠、▷神通、長鯨、白鷹、大井、  
▷天龍、春日

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、▷夕顔、  
菊、葵、▷初雪、白雪、▷綾波、敷波、  
浦波、▷東雲▲、吹雪▲、磯波▲、▷白雲、  
叢雲、薄雲、  
▷呂一七、▷呂一八、▷呂一九、▷呂五一、  
▷呂五三、▷呂二八、▷呂二七、▷呂六三、  
▷呂六四、▷呂六八、▷伊二二、▷伊二一、  
▷伊五七、▷伊五六、▷伊五八、▷伊五二、  
▷伊五一、▷伊五五、▷伊五三、▷伊五四、  
伊六八、  
掃七、掃八、掃九、掃一〇、▷掃一三、  
掃一四、掃一五、掃一六、  
石廊、攝津、間宮、朝日、襟裳、隠戸、  
(最上)、(呂三三)

【神戸】

【江田内】

【舞鶴】

【佐世保】

(有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七一)、  
平戸、  
吾妻▲、川内、鬼怒、  
▷早苗、吳竹▲、若竹▲、  
友鶴、  
呂二六、  
(夕暮)、  
加賀▲、妙高、那智、足柄、羽黒、能登呂、  
磐手、迅鯨、常磐、霧島、八重山、榛名、  
▷長良、名取、▷阿武隈、▷由良▲、▷北上、  
梨、竹、樫、▷柳、桃、檜、櫻、▷夕月、

0654

菊月、望月、三日月、□睦月、如月、彌生、  
 卯月、□初霜、初春、子日、若葉、□長月、  
 水無月、皐月、文月、□疾風、追風、  
 朝風、夕風、□棟、蓬  
 呂二三、呂二四、呂二五、呂三一、  
 呂二九、呂三〇、呂三一、呂六〇、  
 呂六一、呂六二、呂六五、呂六六、  
 呂六七、□伊六五、伊六六、伊六七、  
 伊六三、伊五九、伊六〇、□伊六二、  
 伊六一、伊六四  
 □初雁、千鳥、真鶴  
 敷島▲、早鞆  
 (伊七〇)  
 梅▲、栗▲、楡  
 (三隈)  
 【長崎】  
 灘風、□蓮、麥  
 【馬公】  
 壺蘆島、□藤、薄、萩、葛  
 【鎮海】  
 上海、□安宅、堅田、阴田、保津、伏見  
 【吳淞】  
 浦風  
 【南京】  
 字治  
 【九江】  
 對馬、二見  
 【漢口】  
 鳥羽  
 【長沙】

【沙市】 比良  
 【重慶】 熱海  
 【汕頭】 □芙蓉、刈萱、朝顔  
 【廣東】 嵯峨  
 【ホノルル】 鶴見  
 【羅府】 佐多  
 【作業地】 駒橋、嚴島  
 膠州  
 【航海中】  
 鳴戸 (一日横須賀發—羅府へ)  
 勢多 (三日上海發—南京へ)  
 知床 (三日徳山發—横須賀へ)  
 洲崎 (三日横須賀發—徳山へ)  
 室戸 (三日上海發—佐世保へ)  
 八雲、淺間 (四日仁川發—大連へ)  
 沙風、島風、夕風 (四日馬公發—厦門へ)  
 青島 (四日舞鶴發—吳へ)

(部内限一頁)

0655

# 海軍公報

第二千三百三十九號

海軍大臣官房

昭和九年十二月六日(木)

0656

## ○通牒

官房第五一二七號

昭和九年十二月六日

海軍省 副官

在京各廳長殿

小林元駐滿海軍部司令官出迎ノ件通牒

小林元駐滿海軍部司令官今次事變ニ關スル任務狀況奏上ノ爲來十二月十一日(火)午前十時十分東京驛著直ニ參内ノ豫定ニ付緊急用務ナキ高等官ハ成ルベク多數出迎方可然御取計相成度  
追テ出迎ノ諸官ハ左記承知アリ度

記

一、服裝 軍裝 帶勳一個

二、東京驛出入口

親補職以上ノ諸官及海軍兩次官、  
軍令部次長

右以外

中央入口  
乗降車口

三、受付

東京驛中央入口及乗降車口ニ各一箇所ヲ設ケ乗降車口ヨリ出入ノ諸官ニハ名刺ト引換ヘニ入場證ヲ交付ス

## ○雜款

○電話架設

海軍省電信課長 海軍大佐宇垣完爾宅(四谷區大番町一八)

四谷 三四九番

○出發

米國

海軍少佐 平井 昌平

五月十一日午後一時東京驛發  
午後二時橫濱發  
丸 父 秩

出張

同 香西 弓夫

二十一日橫濱發  
丸 田 龍

海軍公報 第二千三百三十九號

昭和九年十二月六日

二二三三

○艦船所在

▲印ハハ水ヲ指定ヲ要セズ

○十二月六日午前十時調

【横須賀】

日進▲陸奥、夕張、金剛、木曾、口山城▲、五十鈴、▽多摩、▽鳳翔、口鳥海、摩耶、高雄、愛宕、▽赤城、神威、▽比叡、那珂、矢風、澤風、▽松風、春風、旗風、朝風、▽沖風▲、峯風▲、▽響、雷、電、▽連、曉、狹霧、伊三、伊一、伊二、▽伊五、富士▲、尻矢、大和、野島

(鈴谷)

【長浦】

▽秋風、帆風、羽風、太刀風、▽潮、隼、曙、▽朝霧、天霧、夕霧、▽呂五九、呂五七、呂五八、▽呂五五、呂五四、呂五六、▽伊二三、伊二四、伊四

▽掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【館山】

▽栲、▽沼風、神風、野風、波風

【大湊】

長門、矢矧、淀、大鯨、球磨▲、韓崎、勝力、日向▲、加古、▽伊勢、扶桑、龍驤、▽青葉、古鷹、衣笠、▽神通、長鯨、白鷹、大井、▽天龍、春日、谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、▽夕顔、

菊、葵、▽初雪、白雪、▽綾波、敷波、浦波、▽東雲▲、吹雪▲、磯波▲、▽白雲、叢雲、薄雲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、▽呂二八、呂二七、▽呂六三、呂六四、呂六八、▽伊三二、伊三一、▽伊五七、伊五六、伊五八、▽伊五二、伊五一、▽伊五五、伊五三、伊五四、伊六八

掃七、掃八、掃九、掃一〇、▽掃一三、掃一四、掃一五、掃一六

石廊、攝津、間宮、朝日、襟裳、隠戸(最上)、(呂三三)

【神戶】

(有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

【江田内】

平戸

【徳山】

洲崎

【舞鶴】

吾妻▲、川内、鬼怒

【佐世保】

▽早苗、吳竹▲、若竹▲、友鶴、呂二六、(夕暮) 加賀▲、妙高、那智、足柄、羽黒、能登呂、磐手、迅鯨、常磐、霧島、八重山、榛名、▽長良、名取、▽阿武隈、▽由良▲、▽北上、梨、竹、樫、▽柳、桃、檜、檜、▽夕月、

菊月、望月、三日月、□睦月、如月、彌生、  
 卯月、□初霜、初春、子日、若葉、□長月、  
 水無月、皐月、文月、□疾風、追風、  
 朝風、夕風、□柿、蓬  
 呂二三、呂二四、呂二五、呂三一、  
 呂二九、呂三〇、呂三一、呂六〇、  
 呂六一、呂六二、呂六五、呂六六、  
 呂六七、□伊六五、伊六六、伊六七、  
 伊六三、伊五九、伊六〇、□伊六二、  
 伊六一、伊六四  
 □初雁、千鳥、眞鶴  
 敷島▲、早鞆、室戸  
 (伊七〇)  
 【長崎】 梅▲、栗▲、楡  
 (三隈)  
 【馬公】 龍田  
 □蓮、蓼  
 【鎮海】 葦、菱、葦  
 【大連】 八雲、淺間  
 【上海】 出雲、△安宅、堅田、隅田、保津、伏見  
 【南京】 浦風  
 【九江】 宇治  
 【漢口】 對馬、二見  
 【長沙】 鳥羽  
 【沙市】 比良

【重慶】 熬海  
 【廈門】 □汐風、島風、夕風  
 【汕頭】 □芙蓉、刈葦、朝顔  
 【廣東】 嵯峨  
 【作業地】 駒橋、嚴島  
 膠州

【航海中】  
 鳴戸 (一日横須賀發—羅府へ)  
 勢多 (三日上海發—南京へ)  
 知床 (三日徳山發—横須賀へ)  
 佐多 (三日羅府發—「ヒロ」へ)  
 青島 (四日舞鶴發—吳へ)  
 鶴見 (四日「ホノルル」發—羅府へ)  
 灘風 (五日高雄發—馬公へ)  
 藤、薄、萩、葛 (五日壺蘆島發—山海關へ)  
 大泊 (六日函館發—大湊へ)

(號外五頁、部内限ナシ)

0658

# 海軍公報 號外

海軍大臣官房

昭和九年十二月六日(木)

○ 令 達

官房第五一二八號

昭和九年官房四八七  
附別ニテ奉テ廢止

當分ノ間防寒被服ノ貸與並ニ著用方左ノ通定ム



昭和九年十二月六日

海軍大臣

一、普通防寒被服ハ左表ニ該當スル場合ニハ海軍給與令施行細則第十四表ノ規定ニ拘ラズ別表第一ニ依リ之ヲ貸與スルコトヲ得

地 域	艦 船 部 隊	貸 與 數	貸 與 期 間
(イ) 滿 洲 國 沿 岸	部 隊	定員ニ對シ其ノ必要數	十一月一日ヨリ四月三十日迄但シ北緯四十二
(ハ) 露 領 沿 岸	艦 船	外套、帽及靴ニ限リ准	
(ニ) 樺 太 沿 岸	艦 船	士官以上ハ定員數以內、	

海軍公報 號外

0659

(へ) 大 湊	(ホ) 中華民國北緯三十度以北揚子江流域關東州朝鮮內地北緯四十二度以北	ノ地又ハ其ノ沿岸	艦船部隊	下士官及兵ハ定員數二分ノ一以內、其ノ他ノ品種ハ各其ノ必要數	度以北ニ在ル艦船部隊ハ必要ニ應ジ貸與
	同右但シ陸上部隊ノ下士官及兵ハ定員數以內	十一月一日ヨリ四月三十日迄			

二、特製防寒被服ハ左表ニ該當スル場合ニ別表第二ニ依リ之ヲ貸與スルコトヲ得

地域及艦船部隊	貸與數	貸與期間
(イ) 前號(イ)ニ該當スル部隊	定員ニ對シ其ノ必要數	必要ニ應ジ貸與
(ロ) 前號(ロ)ハ及(ニ)ニ該當スル艦船	外套、帽、厚手袋及靴ニ限リ准士官以上ハ定員數以內、下士官及兵ハ定員數二分ノ一以內、其ノ他ノ品種ハ各其ノ必要數	
(ハ) 前號(ホ)ニ該當スル艦船部隊	上甲板ニ於ケル當直員及作業員ニ對シ其ノ必要數	

三、防寒被服ノ著用ニ付テハ所在首席指揮官之ヲ定ム

0660



附 則  
 大正九年官房第三二四〇號ハ之ヲ廢止ス  
 別表第一(普通防寒被服)

品 名	毎一人 準備數	貸 與 區 分	品 質 製 式
准士官以上防寒外套	一個	准士官以上及之ニ準 ズル軍屬ニ貸與ス	表裏絨、胸裏及袖裏「アストラカン」、襟裏及袖 折返部毛ラッコ、左右腰部ニ劍帶吊各一個及表地 ト同地質ノ胸縮帶ヲ附ス 鈕釦ハ金色金屬一號形
准士官以上防寒帽	一個	ズル軍屬ニ貸與ス	表裏絨、頭部裏「フラネル」、鹿裏、垂裏、後當裏 ニハ毛ラッコヲ附ス 前章ハ准士官以上軍帽前章ニ同ジ
下士官兵防寒外套	一個	下士官及兵並ニ之ニ 準ズル軍屬ニ貸與ス	准士官以上防寒外套ニ同ジ但シ鈕釦ハ黒角製トス
下士官兵防寒帽	一個	準ズル軍屬ニ貸與ス	准士官以上防寒帽ニ同ジ但シ前章ハ鍔ニ櫻花ヲ配 シタル銀色金屬トス
毛織襟卷	一個		海軍給與令施行細則第十七表毛織襟卷ニ同ジ
毛織襦袢	一個		准士官以上ハラクダ色、下士官兵ハ紺色毛糸メリ ヤス織
毛織袴下	一個		同 右
毛織手袋	一組	軍人軍屬ニ貸與ス	鼠色毛糸製

海軍公報 號外

三

0661

品名		準備數	貸與區分	品質	製式
毛織靴下	二組	二組	同右但シ海軍給與令施行細則第十四表ニ依リ貸與ヲ受クル者ヲ除ク	紺色毛糸製	
半長靴	一組	一組		海軍給與令施行細則第十七表半長靴ニ同ジ	
備考	一、本表ノ防寒被服ハ海軍給與令施行細則ノ規定ニ依ル防寒服ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得				
別表第二(特製防寒被服)					
品名	準備數	貸與區分	品質	製式	
准士官以上特製防寒外套	一個	准士官以上及之ニ準ズル軍屬ニ貸與ス	准士官以上防寒外套ニ同ジ但シ胸裏、袖裏、襟裏及袖折返部ニハ毛皮ヲ附ス	准士官以上防寒外套ニ同ジ但シ胸裏、袖裏、襟裏及袖折返部ニハ毛皮ヲ附ス	
准士官以上特製防寒帽	一個		准士官以上防寒帽ニ同ジ但シ鹿裏、垂裏及後當裏ニハ毛皮ヲ附ス	准士官以上防寒帽ニ同ジ但シ鹿裏、垂裏及後當裏ニハ毛皮ヲ附ス	
下士官兵特製防寒外套	一個	下士官及兵並ニ之ニ準ズル者ニ貸與ス	准士官以上特製防寒外套ニ同ジ但シ鈕釦ハ黒角製トス	准士官以上特製防寒外套ニ同ジ但シ鈕釦ハ黒角製トス	
下士官兵特製防寒帽	一個		准士官以上特製防寒帽ニ同ジ但シ前章ハ鍔ニ櫻花ヲ配シタル銀色金屬トス	准士官以上特製防寒帽ニ同ジ但シ前章ハ鍔ニ櫻花ヲ配シタル銀色金屬トス	
特製毛織襪	一個		毛織襪ニ同ジ	毛織襪ニ同ジ	
特製毛織袴下	一個		毛織袴下ニ同ジ	毛織袴下ニ同ジ	
特製防寒袴	一個		表裏絨、裏フラネル及毛皮、長脛ノ中央迄	表裏絨、裏フラネル及毛皮、長脛ノ中央迄	

0662

備考	特製厚手袋	一組	軍人軍屬ニ貸與ス	表裏絨、裏ニ白色毛皮ヲ附シ拇指ノミ分レタルモノ、肩ヨリ掛クベキ紐ヲ以テ連結ス
	特製薄手袋	一組		鼠色毛糸製
特製毛織靴下	二組	海軍給與令施行細則第十四表當番外套ノ貸與區分ニ準ズ	紺色毛糸製	
	特製防寒長靴		一組	筒ハフエルト一重、筒ノ下部ヨリ足先迄フエルト二重、敷皮フエルト二枚合セラ用フ、底及甲ノ周圍一部ハ半靴ノ製式ニ準ジ革製トス、底ハゴム板ヲ附ス。尙黒色ボツクス革製長靴ヲ以テ代用スルコトヲ得
特製當番外套	一個	海軍給與令施行細則第十四表當番外套ノ貸與區分ニ準ズ	下士官兵特製防寒外套ニ當番外套ノ如ク肩掛ヲ附シタルモノ	
毛布	四個	軍人軍屬ニ貸與ス但シ海軍給與令施行細則第十四條表ニ依リ毛布ノ貸與ヲ受クル者ニハ一人ニ付二個トス	海軍給與令施行細則第十七表ノ貸與毛布ニ同ジ	

(参照) 大正九年房第三二四〇號ハ亞細亞總領滯岸ニ在ル軍人軍屬ニ防寒被服貸與ノ件ナリ(會計法規中卷一六二頁ノ五)

一、本表ノ防寒被服ハ從前ノ制式ニ依ル特製防寒被服ヲ以テ充ツルコトヲ得

0663

# 海軍公報

第二千三百四十號

昭和九年十二月七日(金)

海軍大臣官房

## ○辭令

故海軍一等主計兵曹橋爪 誠父 橋爪 廣吉

昭和二年勅令第五十七號ニ依リ金七百五十拾圓ヲ給與ス

昭和七年海軍省告示第二號ニ依リ特ニ金七百五十拾圓ヲ賜フ

故海軍三等兵曹飛田義信父 飛田 嘉太郎

(各) 故海軍三等主計兵曹松下重穂母 松下 シケ

昭和二年勅令第五十七號ニ依リ金六百五十拾圓ヲ給與ス

昭和七年海軍省告示第二號ニ依リ特ニ金五百五十拾圓ヲ賜フ

故海軍一等水兵松岡秀勝父 松岡 金重

(各) 故元海軍二等機關兵吉田清利父 吉田 嘉八郎

故元海軍二等機關兵南雲山男父

南雲 源吉

昭和二年勅令第五十七號ニ依リ金六百圓ヲ給與ス

昭和七年海軍省告示第二號ニ依リ特ニ金五百圓ヲ賜フ

故元海軍三等水兵平畑熊吉父 平畑 龜太郎

昭和二年勅令第五十七號ニ依リ金五百五十拾圓ヲ給與ス

昭和七年海軍省告示第二號ニ依リ特ニ金四百五十拾圓ヲ賜フ(以上同海軍省)

## ○雜款

### ○電話架設

海軍艦政本部出仕兼海軍省人事局局員海軍中佐柴崎惠次宅(澁谷區幡ヶ谷本町一ノ四〇)

四谷 二六二三番

海軍公報 第二千三百四十號

昭和九年十二月七日

二三七

0664

○艦船所在

指定ヲ要セズ

○十二月七日午前十時調

【横須賀】

日進▲陸奥、夕張、金剛、木曾、口山城▲  
五十鈴、▽多摩▲、▽鳳翔▲、口鳥海、摩耶、  
高雄、愛宕、▽赤城、神威、▽那珂、比叡  
矢風、澤風、▽松風、春風、旗風、朝風、  
▽沖風▲、峯風▲、▽響、雷、電、▽漣、曉、狹霧  
▽伊三、伊一、伊二、▽伊五  
富士▲、尻矢、大和、知床

(鈴谷)

【長浦】

▽秋風、帆風、羽風、太刀風、▽潮、隴  
曙、▽朝霧、天霧、夕霧

▽呂五九、呂五七、呂五八、▽呂五五、  
▽呂五四、呂五六、▽伊二三、伊二四、  
伊四

▽掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【館山】

▽掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【大湊】

▽沼風、神風、野風、波風

【吳】

長門、矢矧、淀、大鯨、球磨▲、韓崎、勝力、  
日向▲、加古、▽伊勢、扶桑、龍驤、▽青葉、  
古鷹、衣笠、▽神通、長鯨、白鷹、大井、  
▽天龍

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、▽夕顔、  
菊、葵、▽初雪、白雪、▽綾波、敷波、  
浦波、▽東雲▲、吹雪▲、磯波▲、▽白雲、  
叢雲、薄雲

▽呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、  
▽呂五三、▽呂二八、▽呂二七、▽呂六三、  
▽呂六四、▽呂六八、▽伊二二、伊二一、  
▽伊五七、伊五六、伊五八、▽伊五二、  
伊五一、▽伊五五、伊五三、伊五四、  
伊六八  
掃七、掃八、掃九、掃一〇、▽掃一三、  
掃一四、掃一五、掃一六  
石廊、攝津、間宮、朝日、襟裳

(最上)、(呂三三)

【神戸】

(有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

【江田内】

平戸

【徳山】

春日

【舞鶴】

吾妻▲、川内、鬼怒

▽早苗、吳竹▲、若竹▲

友鶴

【佐世保】

(夕暮)

加賀▲、妙高、那智、足柄、羽黒、能登呂、  
磐手、迅鯨、常磐、霧島、八重山、榛名、  
▽長良、名取、▽阿武隈、▽由良▲、▽北上

軍海公報 第二千三百四十號 昭和九年十二月七日

二三九

0665

梨、竹、榧、  
 区柳、桃、檜、櫻、  
 区夕月、  
 菊月、望月、三日月、  
 区陸月、如月、彌生、  
 卯月、  
 区初霜、初春、子日、若葉、  
 区長月、  
 水無月、皐月、文月、  
 区疾風、追風、  
 朝風、夕風、  
 区柿、蓬、  
 呂三三、呂二四、呂二五、呂三一、  
 呂二九、呂三〇、呂三一、呂六〇、  
 呂六一、呂六二、呂六五、呂六六、  
 呂六七、  
 区伊六五、伊六六、伊六七、  
 伊六三、伊五九、伊六〇、  
 区伊六二、  
 伊六一、伊六四、  
 区初雁、千鳥、真鶴、  
 敷島、早鞆、  
 (伊七〇)

【長崎】 梅、栗、榆  
 (三隈)

【鎮海】 葦、菱、葦  
 【山海關】 藤、薄、萩、葛  
 【大連】 八雲、淺間  
 【上海】 出雲、安宅、堅田、隅田、保津、伏見  
 【南京】 勢多  
 【蕪湖】 浦風  
 【九江】 宇治  
 【漢口】 對馬、二見  
 【長沙】 鳥羽

【沙市】 比良  
 【重慶】 熱海  
 【廈門】 沙風、島風、夕風  
 【汕頭】 芙蓉、刈萱、朝顔  
 【廣東】 嵯峨  
 【作業地】 駒橋、巖島  
 膠州

【航海中】  
 鳴戸 (一日横須賀發—羅府へ)  
 佐多 (三日羅府發—「ヒロ」へ)  
 青島 (四日舞鶴發—吳へ)  
 鶴見 (四日「ホノルル」發—羅府へ)  
 龍田、蓮、蓼 (六日馬公發—基隆へ)  
 灘風 (六日馬公發—馬尾へ)  
 隱戸 (六日吳發—羅府へ)  
 洲崎 (七日徳山發—佐世保へ)  
 室戸 (七日佐世保發—吳へ)  
 野島 (七日横須賀發—佐世保へ)

(部内限ナシ)

0666

# 海軍公報

第二千三百四十一號

海軍大臣官房

昭和九年十二月八日(土)

## ○令達

官房第五一八九號

當分ノ間一月入團ノ新兵ニハ三月三十一日迄必要ニ應

シ毛織襦袢一個宛ヲ貸與スルコトヲ得

昭和九年十二月八日

海軍大臣

## ○辭令

海軍機關中佐 野々山早吉

第二課兼第一課勤務ヲ命ス(註明海軍省軍需局)

## ○雜款

○旗艦變更

横須賀警備戰隊司令官ハ本月四日旗艦ヲ比叡ヨリ那珂ニ變更セリ

## ○司令艇變更

第十一掃海隊司令官ハ本月五日司令艇ヲ一時第十三號掃海艇ヨリ第十六號掃海艇ニ變更シ、即日復歸セリ

## ○驅逐艦艇行動豫定

地名	着	發
長崎		十二月十日
佐世保		十二月十八日
上海		十二月二十日

## ○郵便物發送先

驅逐艦艇宛	長崎
十二月九日迄ニ到達見込ノモノハ	佐世保
同 十七日迄ニ同	佐世保
其ノ後ハ	佐世保郵便局氣付

## 特務艦襟裳宛

三月二十八日迄ニ到達見込ノモノハ  
横濱郵便局氣付(軍艦郵便)  
其ノ後ハ  
吳

## ○事務所設置

海軍公報 第二千三百四十一號 昭和九年十二月八日

一二四一

0667

軍艦鈴谷艦裝員事務所ヲ横須賀海軍工廠内ニ設置シ本月五日ヨリ事務ヲ開始セリ

海軍機關大尉正七位高橋利男本月六日死去、昨七日午後三時宮崎縣北諸縣郡庄内町赤木一方ニ於テ神式ニ依リ告別式執行セリ

0668



○艦船所在

▲印(ハ、ホ)  
指定ヲ要セズ

○十二月八日午前十時調

【横須賀】

日進▲陸奥、夕張、金剛、木曾、口山城▲  
五十鈴、▽多摩▲▽鳳翔▲口鳥海、摩耶、  
高雄、愛宕、▽赤城、神威、▽那珂、比叡、  
矢風、澤風、▽松風、春風、旗風、朝風、  
▽沖風▲峯風▲▽響、雷、電、▽漣、曉、狹霧、  
▽伊三、伊一、伊二、▽伊五、  
富士▲尻矢、大和、知床

(鈴谷)

【長浦】

▽秋風、帆風、羽風、太刀風、▽潮、隴、  
曙、▽朝霧、天霧、夕霧

▽呂五九、呂五七、呂五八、▽呂五五、  
▽呂五四、呂五六、▽伊二三、伊二四、  
伊四

▽掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【館山】

▽掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【大湊】

▽沼風、神風、野風、波風

【吳】

長門、矢矧、淀、大鯨、球磨▲韓崎、勝力、  
日向▲加古、▽伊勢、扶桑、龍驤、▽青葉、  
古鷹、衣笠、▽神通、長鯨、白鷹、大井、  
▽天龍

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、▽夕顔、  
菊、葵、▽初雪、白雪、▽綾波、敷波、  
浦波、▽東雲▲吹雪▲磯波▲▽白雲、  
叢雲、薄雲

呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、  
呂五三、▽呂二八、呂二七、▽呂六三、  
呂六四、呂六八、▽伊三三、伊三一、  
▽伊五七、伊五六、伊五八、▽伊五二、  
伊五一、▽伊五五、伊五三、伊五四、  
伊六八

掃七、掃八、掃九、掃一〇、▽掃一三、  
掃一四、掃一五、掃一六

石廊、攝津、問宮、朝日、襟裳  
(最上)、(呂三三)

【神戸】

(有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

【江田内】

春日

【舞鶴】

▽早苗、吳竹▲、若竹▲

友鶴

(夕暮)

【佐世保】

加賀▲妙高、那智、足柄、羽黑、能登呂、  
磐手、迅鯨、常磐、霧島、八重山、榛名、  
▽長良、名取、▽阿武隈、▽由良▲、▽北上

0669

梨、竹、榧、  
 柳、桃、檜、櫻、  
 夕月、  
 菊月、望月、三日月、  
 陸月、如月、彌生、  
 卯月、  
 初霜、初春、  
 子日、若葉、  
 長月、  
 水無月、  
 皐月、  
 文月、  
 疾風、  
 追風、  
 朝風、  
 夕風、  
 柿

呂三三、  
 呂二四、  
 呂二五、  
 呂三一、  
 呂二九、  
 呂三〇、  
 呂三一、  
 呂六〇、  
 呂六一、  
 呂六二、  
 呂六五、  
 呂六六、  
 呂六七、  
 伊六五、  
 伊六六、  
 伊六七、  
 伊六三、  
 伊五九、  
 伊六〇、  
 伊六二、  
 伊六一、  
 伊六四

初雁、  
 千鳥、  
 真鶴

敷島、  
 早稻、  
 洲崎

(伊七〇)

長崎 梅、栗、榆  
 (三隈)

基隆 龍田  
 蓮、  
 菱、  
 葦

鎮海 八雲、  
 淺間

大連 八雲、  
 淺間

上海 出雲、  
 安宅、  
 堅田、  
 隅田、  
 保津、  
 伏見

南京 勢多

蕪湖 浦風

九江 宇治

漢口 對馬、  
 二見

長沙 鳥羽  
 重慶 熱海  
 馬尾 灘風  
 廈門 沙風、  
 島風、  
 夕風  
 汕頭 芙蓉、  
 劉萱、  
 朝顏  
 廣東 嵯峨  
 膠州 駒橋、  
 巖島

航海中

鳴戸 (一日横須賀發—羅府へ)  
 佐多 (三日羅府發—「ヒロ」へ)  
 鶴見 (四日「ホルル」發—羅府へ)  
 隱戸 (六日吳發—羅府へ)  
 比良 (七日沙市發—馬尾へ)  
 藤、  
 薄、  
 萩、  
 葛 (七日山海關發—旅順へ)  
 室戸 (七日佐世保發—吳へ)  
 野島 (七日横須賀發—佐世保へ)  
 蓬 (八日佐世保發—基隆へ)  
 青島 (八日吳發—神戶へ)

(部内限一頁)

0670





但シ報酬月額六拾五圓ヲ給シ部内限判任官ヲ以テ  
待遇セラル(正官海軍大臣官房)

○雜款

○司令艇變更  
第十一掃海隊司令ハ本月七日司令艇ヲ第十三號掃海艇  
ヨリ第十六掃海艇ニ變更即日復歸セリ

海軍公報 第二千三百四十二號 昭和九年十二月十日

一二四七

0673

## 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	<table border="1"><tr><td>1</td></tr><tr><td>2</td></tr><tr><td>3</td></tr></table>	1	2	3
1				
2				
3				
分割撮影した理由	A 3版以上のため			
文書等名	海軍大学校			
上記のとおり分割撮影したことを証明する。				

海軍		大		學		校		學	校	名	
海軍砲術學校		海軍水雷學校		海軍通信學校		海軍航海學校		高等科學生	航海學生	海軍練習航空隊	
甲種學生		機關學生		選科		生		高等科學生	航海學生	海軍練習航空隊	
帝國大學		學ニ委		託修學		セシム		海軍大學		東京外國	
砲兵兵器		魚雷兵器		無線兵器		光學兵器		化學兵器		航空學	
兵科		兵科		兵科		兵科		兵科		兵科	
無線兵器		光學兵器		化學兵器		航空學		機械工學		電氣工學	
兵科		兵科		兵科		兵科		兵科		兵科	
機關學生		機關學生		機關學生		機關學生		機關學生		機關學生	
昭和三十二年		昭和三十二年		昭和三十二年		昭和三十二年		昭和三十二年		昭和三十二年	
三月三十一日		三月三十一日		三月三十一日		三月三十一日		三月三十一日		三月三十一日	
試驗又ハ考試規程		試驗又ハ考試規程		試驗又ハ考試規程		試驗又ハ考試規程		試驗又ハ考試規程		試驗又ハ考試規程	
資格		資格		資格		資格		資格		資格	
備考		備考		備考		備考		備考		備考	
昭和三十二年	三月三十一日	昭和三十二年	三月三十一日	昭和三十二年	三月三十一日	昭和三十二年	三月三十一日	昭和三十二年	三月三十一日	昭和三十二年	三月三十一日
試驗又ハ考試規程	試驗又ハ考試規程	試驗又ハ考試規程	試驗又ハ考試規程	試驗又ハ考試規程	試驗又ハ考試規程	試驗又ハ考試規程	試驗又ハ考試規程	試驗又ハ考試規程	試驗又ハ考試規程	試驗又ハ考試規程	試驗又ハ考試規程
資格	資格	資格	資格	資格	資格	資格	資格	資格	資格	資格	資格
備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考	備考

(昭和九年十二月十日公報別表)

海	海軍醫學			海軍工機學校	海軍練習航空隊	海軍航海學校	海軍砲術學校	海軍水雷學校	海軍通信學校	校	
	生	學	科	選	高等科學生	高等科學生	航海學生	高等科學生	生		
	士官	藥劑科	士官	軍醫科	高等科學生	高等科學生	航海學生	高等科學生	生	東京外國語學校ニ委託修學セシムルキ者 露語(兵科)	
	同	右	同	昭和十年 四月中旬	同	同	同	昭和十年 二月中旬	同	露語(兵科) 英語(兵科、主計科) 獨語(兵科、主計科) 佛語(兵科、主計科) 支語(兵科、主計科)	
	同	右	同	同	同	同	同	同	同	同	
				昭和十年 五月三十一日							
一、法律 法律ニ關スル推理力ヲ試ムベキ課題 (六法全書ノ外參考書ヲ用フルコトヲ得ズ) 二、經濟及財政 經濟及財政ニ關スル推理力ヲ試ム	一、藥學 藥劑科士官トシテ心得ベキ實務及藥學一般ニ關スル事項 二、イ 英文和譯 和文英譯 ロ 獨文和譯 和文獨譯 ハ 佛文和譯 和文佛譯 (辭書ヲ用フルコトヲ得)	一、醫學 軍醫科士官トシテ心得ベキ實務及醫學一般ニ關スル事項 (參考書ヲ用フルコトヲ得ズ) 二、イ 英文和譯 和文英譯 ロ 獨文和譯 和文獨譯 ハ 佛文和譯 和文佛譯 (辭書ヲ用フルコトヲ得)	一、雜問 機關術、工術其ノ他初級機關科將校トシテ心得ベキ實務上ノ事項 二、普通學 數學 英文和譯	一、雜問 初級將校及航空機搭乗將校トシテ心得ベキ實務上ノ事項 二、普通學 數學 英(獨)(佛)文和譯 (辭書ヲ用フルコトヲ得)	一、雜問 初級將校トシテ心得ベキ實務上ノ事項 二、普通學 數學 英(獨)(佛)文和譯 (辭書ヲ用フルコトヲ得)	一、昭和四年十一月三十日ヨリ昭和七年十二月一日迄ノ間ニ於テ海軍中尉ニ任ゼラレタル者 二、選拔ノ際學生タラザル者 三、同時ニ海軍大學校甲種學生候補者トシテ選拔セザル者	一、昭和四年十一月三十日ヨリ昭和六年十二月一日ニ至ル間ニ於テ海軍中尉ニ任ゼラレタル者 二、選拔ノ際學生タラザル者 三、飛行學生教程修了後ノ經過年數計算最終期日 四、同時ニ海軍大學校甲種學生候補者トシテ選拔セザル者	一、昭和五年十二月一日ヨリ昭和七年十二月一日迄ノ間ニ於テ海軍軍醫大尉ニ任ゼラレタル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、昭和八年十一月十五日及昭和九年十一月十五日海軍機關中尉ニ任ゼラレタル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、昭和四年十一月三十日ヨリ昭和七年十二月一日迄ノ間ニ於テ海軍中尉ニ任ゼラレタル者 二、選拔ノ際學生タラザル者 三、同時ニ海軍大學校甲種學生候補者トシテ選拔セザル者	一、獨又ハ佛文和譯ノ受験希望者ニ在リテハ候補名簿中欄外ニ其ノ旨明記スベシ 二、一人ニシテ同時ニ二科目以上志望スル場合ニハ候補名簿ハ第一志望ノ一科目ニ付調製シ第二、第三志望ハ同名簿志望特科欄ニ記註スルモノトス 獨又ハ佛文和譯ノ受験希望者ニ在リテハ候補名簿中欄外ニ其ノ旨明記スベシ
	同	右	同	海軍藥劑大尉ニ任ゼラレタル後ノ經過年數計算最終期日 昭和十年三月三十一日	海軍軍醫大尉ニ任ゼラレタル後ノ經過年數計算最終期日 昭和十年三月三十一日	海軍軍醫大尉ニ任ゼラレタル後ノ經過年數計算最終期日 昭和十年三月三十一日	海軍軍醫大尉ニ任ゼラレタル後ノ經過年數計算最終期日 昭和十年三月三十一日	海軍軍醫大尉ニ任ゼラレタル後ノ經過年數計算最終期日 昭和十年三月三十一日	海軍軍醫大尉ニ任ゼラレタル後ノ經過年數計算最終期日 昭和十年三月三十一日	志願書ニハ考試ヲ受クベキ外國語名ノ記入ヲ要ス	



海軍工機學校			海軍軍醫學校			海軍經理學校		
高等科學生			高等科學生			甲種學生		
選科			選科			選科		
軍醫科士官			藥劑科士官			帝國大學 法學部經 濟學部若 ハ東京商 科大學ニ 於テ學習 セシムル キ者		
同	右	同	同	右	同	昭和三十二年 五月三十一日	昭和三十二年 三月三十一日	昭和三十二年 二月中旬
一、雜問 機關、工術共ノ他初級機關科將 校トシテ心得ベキ實務上ノ事項 二、普通學 數學 英文和譯	一、昭和三十二年十一月十五日及昭和三十二年十一月十五日海軍機關中尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、海軍主計大尉ニ任ゼラントル後ノ 昭和三十二年十一月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、藥學 藥劑科士官トシテ心得ベキ實務及 藥學一般ニ關スル事項 二、イ 英文和譯 和文英譯 ロ 獨文和譯 和文獨譯ノ内一 ハ 佛文和譯 和文佛譯(辭書ヲ用フ ルコトヲ得)	一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、藥學 藥劑科士官トシテ心得ベキ實務及 藥學一般ニ關スル事項 二、イ 英文和譯 和文英譯 ロ 獨文和譯 和文獨譯ノ内一 ハ 佛文和譯 和文佛譯(辭書ヲ用フ ルコトヲ得)	一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者
同	右	同	同	右	同	昭和三十二年 五月三十一日	昭和三十二年 三月三十一日	昭和三十二年 二月中旬
一、藥學 藥劑科士官トシテ心得ベキ實務及 藥學一般ニ關スル事項 二、イ 英文和譯 和文英譯 ロ 獨文和譯 和文獨譯ノ内一 ハ 佛文和譯 和文佛譯(辭書ヲ用フ ルコトヲ得)	一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者
同	右	同	同	右	同	昭和三十二年 五月三十一日	昭和三十二年 三月三十一日	昭和三十二年 二月中旬
一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者
一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者	一、昭和三十二年十一月一日ヨリ昭和三十二年十二月一日迄ノ間ニ於テ 海軍軍醫大尉ニ任ゼラントル者 二、選拔ノ際學生タラザル者

○艦船所在

▲印(ニ、ホ、ホ)  
指定ヲ要セズ

○十二月十日午前十時調

【横須賀】

日進▲陸奥、夕張、金剛、木曾、口山城▲、五十鈴、▽多摩▲、▽風翔▲、口鳥海、摩耶、高雄、愛宕、▽赤城、神威、▽那珂、比叡、矢風、澤風、▽松風、春風、旗風、朝風、▽沖風▲、峯風▲、▽響、雷、電、▽漣、曉、狭霧、▽伊三、伊二、▽伊五

富士▲、尻矢、大和、知床

(鈴谷)

【長浦】

▽秋風、帆風、羽風、太刀風、▽潮、臈、曙、▽朝霧、天霧、夕霧

▽呂五九、呂五七、呂五八、▽呂五五、呂五四、呂五六、▽伊二三、伊二四、伊一、伊四

▽掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【館山】

▽榑、▽沼風、神風、野風、波風

大泊

【吳】

長門、矢矧、淀、大鯨、球磨▲、韓崎、勝力、日向▲、加古、▽伊勢、扶桑、龍驤、▽青葉、古鷹、衣笠、▽神通、長鯨、白鷹、大井、▽天龍

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、▽夕顔、菊、葵、▽初雪、白雪、▽綾波、敷波、浦波、▽東雲▲、吹雪▲、磯波▲、▽白雲、叢雲、薄雲

▽呂一七、呂二八、呂一九、呂五一、呂五三、▽呂二八、呂二七、▽呂六三、呂六四、呂六八、▽伊二二、伊二一、伊五七、伊五六、伊五八、▽伊五二、伊五一、▽伊五五、伊五三、伊五四、伊六八

掃七、掃八、掃九、掃一〇、▽掃一三、掃一四、掃一五、掃一六

石廊、攝津、問宮、朝日、室戸

(最上)、(呂三三)

青島

【神戶】

(有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

平戸

【江田内】

吾妻▲、川内、鬼怒

【舞鶴】

▽早苗、吳竹▲、若竹▲

呂二六

友鶴

(夕暮)

【佐世保】

加賀▲、妙高、那智、足柄、羽黒、能登呂、磐手、迅鯨、常磐、霧島、八重山、榛名、▽長良、名取、▽阿武隈、▽由良▲、▽北上

0677

春日  
梨、竹、樵、区柳、桃、檜、櫻、区夕月、  
菊月、望月、三日月、区睦月、如月、彌生、  
卯月、区初霜、初春、子日、若葉、区長月、  
水無月、皁月、文月、区疾風、追風、  
朝風、夕風、区柿

区二三、区二四、区二五、区三一、  
区二九、区三〇、区三二、区六〇、  
区六一、区六二、区六五、区六六、  
区六七、区伊六五、伊六六、伊六七、  
伊六三、伊五九、伊六〇、区伊六二、  
伊六一、伊六四

区初雁、千鳥、真鶴  
敷島、早靱、野島、洲崎  
(伊七〇)

【長崎】梅、栗、榆  
(三隈)

【馬公】芙蓉、刈萱、朝顔  
区龍田

【鎮海】区萱、菱、葦  
区藤、薄、萩、葛

【旅順】区八雲、淺間  
区安宅、隅田、保津、伏見

【上海】勢多

【燕湖】浦風  
【九江】宇治  
【漢口】對馬、二見  
【長沙】鳥羽  
【宜昌】比良  
【重慶】熱海  
【馬尾】灘風  
【廣東】嵯峨  
【作業地】駒橋、嚴島  
膠州

【航海中】  
鳴戸 (一日横須賀發—羅府へ)  
佐多 (三日羅府發—「ヒロ」へ)  
鶴見 (四日「ホノルル」發—羅府へ)  
隱戸 (六日吳發—羅府へ)  
堅田 (八日上海發—羅府へ)  
蓬 (八日佐世保發—基隆へ)  
襟裳 (八日吳發—「ホノルル」へ)  
区出雲 (九日上海發—馬公へ)  
区沙風 (九日厦門發—馬尾へ)  
島風、夕風 (九日厦門發—馬尾へ)

(別表一葉、部内限二頁、同附錄五頁)

0678

# 海軍公報

第二千三百四十三號

昭和九年十二月十一日(火)  
海軍大臣官房

## ○通牒

經庶第二四四號

昭和九年十二月六日

海軍省經理局

關係各廳御中

關西地方颱風災害義捐金ニ關スル件申進

本年官房第四三二八號海軍省副官通牒(十月四日海軍公報)ニ依

ル本件有志ニシテ未釀用ノ向ハ締切ノ都合モ有之候條

此ノ際至急左記振替口座ヲ利用シ御送金相成様致度

記

口座番號 東京四七六〇二番

加入者住所氏名 麴町區霞ヶ關海軍省經理局

## ○訓令

海軍省出仕海軍少佐 佐佐木 高信

海軍省軍務局ニ於テ服務スヘシ(特命海軍大臣)

## ○辭令

○昭和九年十二月十日

任海軍技手

給四級俸

大庭 久雄

海軍事務官 小倉 久治郎

海軍艦政本部勤務ヲ命ス

海軍技手 大庭 久雄

海軍艦政本部勤務ヲ命ス(以上特命海軍省)

## ○雜款

○特務艦室戶行動豫定

地名 着

發 三月二十日

吳 世保 三月二十一日

佐 神戶 二十四日

吳 神戶 二十七日

發 二十六日

海軍公報 第二千三百四十三號 昭和九年十二月十一日

一二五二

0679

○郵便物發送先

特務艦室戸宛

十二月十九日迄ニ到達見込ノモノハ

同 二十一日迄ニ 同

同 二十五日迄ニ 同

其ノ後ハ

吳 神 佐 吳  
世  
戸 保

0680

○艦船所在

△印△ハハホ  
指定ヲ要セズ

○十二月十一日午前十時調

【横須賀】

日進△陸奥、夕張、金剛、木曾、口山城△、五十鈴、▷多摩△、▷鳳翔△、口鳥海、摩耶、高雄、愛宕、▷赤城、神威、▷那珂、比叡、矢風、澤風、▷松風、春風、旗風、朝風、  
▷沖風△、峯風△、▷響、雷、電、▷漣、曉、狹霧、伊三、伊二、▷伊五、富士△、尻矢、大和、知床

(鈴谷)

【長浦】

▷秋風、帆風、羽風、太刀風、▷潮、朧、曙、▷朝霧、天霧、夕霧

▷呂五九、▷呂五七、▷呂五八、▷呂五五、▷呂五四、▷呂五六、▷伊二三、▷伊二四、伊一、伊四

▷掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【館山】

▷沼風、神風、野風、波風

【大湊】

▷沼風、神風、野風、波風

【吳】

▷長門、矢矧、淀、大鯨、球磨△、韓崎、勝力、日向△、加古、▷伊勢、扶桑、龍驤、▷青葉、古鷹、衣笠、▷神通、長鯨、白鷹、大井、▷天龍

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、▷夕顔、菊、葵、▷初雪、白雪、▷綾波、敷波、浦波、▷東雲△、吹雪△、磯波△、▷白雲、叢雲、薄雲

▷呂一七、▷呂一八、▷呂一九、▷呂五一、▷呂五三、▷呂二八、▷呂二七、▷呂六三、▷呂六四、▷呂六八、▷伊二三、▷伊二一、▷伊五七、▷伊五六、▷伊五八、▷伊五二、▷伊五一、▷伊五五、▷伊五三、▷伊五四、伊六八

▷掃七、▷掃八、▷掃九、▷掃一〇、▷掃一三、▷掃一四、▷掃一五、▷掃一六、石廊、攝津、間宮、朝日、室戸

(最上)、(呂三三)

【神戸】(有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

【江田内】

平戸

【舞鶴】

▷吾妻△、川内、鬼怒、▷早苗、吳竹△、若竹△、呂二六

友鶴

(夕暮)

【佐世保】

▷加賀△、妙高、那智、足柄、羽黒、能登、磐手、迅鯨、常磐、霧島、八重山、榛名、▷長良、名取、▷阿武隈、▷山良△、▷北上、春日

梨、竹、樅、  
 區柳、桃、檜、櫻、  
 區夕月、  
 區菊月、望月、三日月、  
 區睦月、如月、彌生、  
 區卯月、  
 區初霜、初春、子日、  
 若葉、區長月、  
 水無月、  
 區臯月、文月、  
 區疾風、追風、  
 朝風、夕風、  
 區柿、榆、栗、梅、  
 區呂三三、  
 呂二四、  
 呂二五、  
 呂三一、  
 區呂二九、  
 呂三〇、  
 呂三一、  
 區呂六〇、  
 呂六一、  
 呂六二、  
 區呂六五、  
 呂六六、  
 呂六七、  
 區伊六五、  
 伊六六、  
 伊六七、  
 區伊六三、  
 伊五九、  
 伊六〇、  
 區伊六二、  
 伊六一、  
 伊六四、  
 區初雁、  
 千鳥、  
 真鶴、  
 敷島、  
 早輮、  
 野島、  
 (伊七〇)

【漢口】 對馬、二見  
 【長沙】 鳥羽  
 【宜昌】 比良  
 【重慶】 熱海  
 【馬尾】 熱海  
 【汕頭】 熱海  
 【廣東】 熱海  
 【作業地】 熱海  
 駒橋、  
 駿島、  
 膠州

【航海中】  
 鳴戸 (一日横須賀發—羅府へ)  
 佐多 (三日羅府發—「ヒロ」へ)  
 鶴見 (四日「ホノルル」發—羅府へ)  
 隱戸 (六日吳發—羅府へ)  
 堅田 (八日上海發—燕湖へ)  
 襟裳 (八日吳發—「ホノルル」へ)  
 出雲 (九日上海發—馬公へ)  
 青島 (十日神戶發—横須賀へ)  
 洲崎 (十日佐世保發—旅順へ)

(部内限二頁)

0682

# 海軍公報

第二千三百四十四號

海軍大臣官房

昭和九年十二月十二日(水)

## ○令達

官房第五二四三號

昭和九年十二月十二日

海軍大臣

在京親任官殿

賢所御神樂ノ儀傳達

來十五日賢所御神樂被爲行候ニ付同日午後四時三十分  
賢所參集所へ參集相成度

服裝 正裝

## ○通牒

航本第三四七二號

海軍航空機(機體)基本部品制式ニ別紙ヲ加フ

別紙ハ所要ノ向ニ配付ス

昭和九年十二月十一日

海軍航空本部長

## ○辭令

川良 武次

佐世保海軍工廠事變關係造船業務ヲ囑託ス

但シ報酬月額百貳拾五圓ヲ給シ部内限奉任官待遇

トス(其旨海軍省)

海軍主計中佐 島居 新一

購買名稱調査委員會委員ヲ命ス(其旨同)

## ○雜款

○司令潜水艦變更

第二十八潜水隊司令ハ本月一日司令潜水艦ヲ伊號第六  
十三潜水艦ヨリ伊號第六十潜水艦ニ變更セリ

○司令艇變更

第十一掃海隊司令ハ本月八日司令艇ヲ一時第十三號掃  
海艇ヨリ第十五號掃海艇ニ變更即日復歸セリ

海軍公報 第二千三百四十四號 昭和九年十二月十二日

一二五五

0683



○滯在地變更  
待命海軍主計中尉香田實ハ佐世保ヨリ吳へ、休職海  
軍機關少尉福田一男ハ東京ヨリ佐世保へ滯在地變更ノ  
儀昨十一日孰モ認許セラレタリ

0684

○艦船所在

▲印ハ、ハ、ホ、ケ、セ、ズ

○十二月十二日午前十時調

【横須賀】

日進▲陸奥、夕張、金剛、木曾、口山城▲、五十鈴、▽多摩▲、▽鳳翔▲、口鳥海▲、摩耶、高雄、愛宕、▽赤城、神威、▽那珂、比叡、矢風、澤風、▽松風、春風、旗風、朝風、▽沖風▲、峯風▲、▽響、雷、電、▽漣、曉、狹霧、▽伊三、伊二、▽伊五、富士▲、尻矢、大和、知床

(鈴谷)

【長浦】

秋風、帆風、羽風、太刀風、▽潮、隴、曙、▽朝霧、天霧、夕霧

▽呂五九、呂五七、呂五八、▽呂五五、呂五四、呂五六、▽伊二三、伊二四、伊一、伊四

▽掃六、掃一、掃二、掃三、掃四、掃五

【館山】

▽沼風、神風、野風、波風

【大湊】

大泊

【吳】

長門、矢矧、淀、大鯨、球磨▲、韓崎、勝力、日向▲、加古、▽伊勢、扶桑、龍驤、▽青葉、古鷹、衣笠、▽神通、長鯨、白鷹、大井、▽天龍

谷風、天津風、時津風、磯風、濱風、▽夕顔、菊、葵、▽初雪、白雪、▽綾波、敷波、浦波、▽東雲▲、吹雪▲、磯波▲、▽白雲、叢雲、薄雲

▽呂一七、呂一八、呂一九、呂五一、呂五三、▽呂二八、呂二七、▽呂六三、呂六四、呂六八、▽伊二二、伊二一、▽伊五七、伊五六、伊五八、▽伊五二、伊五一、▽伊五五、伊五三、伊五四、伊六八

掃七、掃八、掃一〇、▽掃一三、掃一四、掃一五、掃一六

石廊、攝津、問宮、朝日、室戸

(最上)、(呂三三)

【神戶】

(有明)、(伊六)、(伊六九)、(伊七一)

【江田内】

平戸

【舞鶴】

吾妻▲、川内、鬼怒

▽早苗、吳竹▲、若竹▲

友鶴

【佐世保】

(夕暮)

加賀▲、妙高、那智、足柄、羽黒、能登呂、磐手、迅鯨、常磐、霧島、八重山、榛名、▽長良、名取、▽阿武隈、▽由良▲、▽北上、春日

梨、竹、榎、区柳、桃、檜、櫻、区夕月、  
 菊月、望月、三日月、区睦月、如月、彌生、  
 卯月、区初霜、初春、子日、若葉、区長月、  
 水無月、皐月、文月、区疾風、追風、  
 朝風、夕風、区柿、檜、栗、梅  
 区二三、 区二四、 区二五、 区三一、  
 区二九、 区三〇、 区三二、 区六〇、  
 区六一、 区六二、 区六五、 区六六、  
 区六七、 区伊六五、 伊六六、 伊六七、  
 伊六〇、 伊六三、 伊五九、 伊六二、  
 伊六一、 伊六四  
 区初雁、千鳥、真鶴  
 敷島、早瀬、野島  
 (伊七〇)  
 (三隈)  
 【長崎】(三隈)  
 【馬公】出雲  
 【芙蓉】刈萱、朝顔  
 【龍田】  
 【基隆】  
 区蓮、蓼、蓬  
 【鎮海】  
 区葦、菱、葦  
 【旅順】  
 区藤、薄、萩、葛  
 【大連】  
 区八雲、淺間  
 【上海】  
 区安宅、隅田、保津、伏見  
 【鎮江】  
 浦風  
 【南京】  
 勢多

【九江】 宇治  
 【漢口】 對馬、二見  
 【長沙】 鳥羽  
 【宜昌】 比良  
 【重慶】 熱海  
 【馬尾】 区沙風、灘風  
 【汕頭】 島風、夕風  
 【廣東】 嵯峨  
 【作業地】 駒橋、嚴島  
 膠州  
 【航海中】  
 鳴戸 (一日横須賀發—羅府へ)  
 佐多 (三日羅府發—「ヒロ」へ)  
 鶴見 (四日「ホノルル」發—羅府へ)  
 隠戸 (六日吳發—羅府へ)  
 堅田 (八日上海發—燕湖へ)  
 襟裳 (八日吳發—「ホノルル」へ)  
 青島 (十日神戶發—横須賀へ)  
 洲崎 (十日佐世保發—旅順へ)  
 掃九 (十二日吳發—危川へ)

(部内限一頁)

0686